



MIKIKOGYO CO.,LTD.

第56期 株主通信

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで



まちの未来の幹になる。
Become the future of the "MIKI" of the city

美樹工業株式会社

証券コード：1718

信用の高揚10ヶ条

- 1 ● 経営方針には全員が参画し 経営計画は必ず達成する会社
- 2 ● お客さまから満足と信頼をいただき お客さまに感動を与える会社
- 3 ● 社会に責任をもち社会に容認される会社
- 4 ● 情報を共有し情報を開示し 経営の透明性を誇れる会社
- 5 ● 地域に奉仕貢献し地域に密着した会社
- 6 ● 環境問題に真剣に進歩的にとり組む会社
- 7 ● 脱請負を旨とし 企画事業 提案受注を旨とする会社
- 8 ● 礼儀作法 規則 約束を守り 社格の向上に努める会社
- 9 ● 相互信頼と切磋琢磨が共存する会社
- 10 ● 無事故 無災害を継続する会社

人と社会に選ばれる美樹工業を目指します。

平素は当社グループ事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第56期連結会計年度（平成29年1月1日から平成29年12月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善に加えて、雇用・所得環境の改善による消費の持ち直し、民間設備投資の持ち直しにより、景気は緩やかな回復基調が続きました。

建設業界におきましては、政府建設投資については震災復興関連事業や五輪関連事業等により堅調に推移しておりますが、民間住宅建設投資については、分譲マンションにおいて建設資材や労務費の高騰などから販売価格が高止まりの状態でも適地が限定されているものの、住宅着工戸数は増加傾向で推移しました。

当社グループにおきましては、このような経営環境の中、商圏の拡大と事業競争力の強化を図りました。

当社グループの業績につきましては、当社において前連結会計年度に複数の大型産業用太陽光設置工事の完成計上があったことから設備事業セグメントの売上が減少しましたが、当社

の建設事業セグメントにおいて大型工事の完成計上があったこと等から、連結売上高は前年同期比1.6%増の31,948百万円となりました。

利益につきましては、売上高は増加したものの、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社及び株式会社リブライフの住宅事業セグメントにおいて引渡棟数の減少により収益が悪化したことから、連結営業利益は前年同期比6.8%減の1,896百万円、連結経常利益は前年同期比7.2%減の1,891百万円となりました。また、特別利益及び特別損失を計上し、税金等調整前当期純利益は前年同期比16.7%減の1,842百万円となりましたが、法人税率の引き下げ及び保有不動産売却による繰延税金資産に対する評価性引当金額の戻し入れが発生した影響もあり、法人税等合計479百万円、非支配株主に帰属する当期純利益56百万円を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比2.6%増の1,305百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 岡田 尚一郎

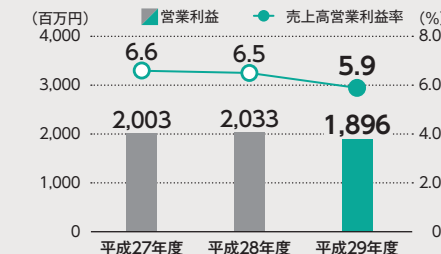
財務ハイライト

Financial Highlights

売上高



営業利益・売上高営業利益率



1株当たり当期純利益



※平成29年7月1日付をもって普通株式10株を1株の割合で併合したため、1株当たり当期純利益は当該株式併合を考慮した金額を記載しています。

POINT

1 資産合計

当社において完成工事高が増加した影響から受取手形及び完成工事未収入金等が増加したこと、連結子会社であるセキスイハイム山陽(株)において販売用不動産が増加したこと等により、29,925百万円（前連結会計年度末は27,378百万円）となりました。

2 負債合計

工事代金の支払に伴う運転資金の需要に伴い短期借入金及び社債が増加したことにより、17,073百万円（前連結会計年度末は15,740百万円）となりました。

3 純資産合計

親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、12,852百万円（前連結会計年度末は11,638百万円）となりました。

4 売上高

当社において前連結会計年度に複数の大型産業用太陽光設置工事の完成計上があったことから設備事業セグメントの売上高が減少しましたが、当社の建設事業セグメントにおいて大型工事の完成計上があったこと等から、連結売上高は前年同期比1.6%増の31,948百万円となりました。

5 利益

売上高は増加したものの、連結子会社であるセキスイハイム山陽(株)及び(株)リブライフの住宅事業セグメントにおいて引渡棟数の減少により収益が悪化したことから、連結営業利益は前年同期比6.8%減の1,896百万円、連結経常利益は前年同期比7.2%減の1,891百万円となりました。また、特別利益及び特別損失を計上し、税金等調整前当期純利益は前年同期比16.7%減の1,842百万円となりましたが、法人税率の引き下げ及び保有不動産売却による繰延税金資産に対する評価性引当金額の戻し入れが発生した影響もあり、法人税等合計479百万円、非支配株主に帰属する当期純利益56百万円を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比2.6%増の1,305百万円となりました。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

| 科目 | 前連結会計年度 (平成28年12月31日現在) | 当連結会計年度 (平成29年12月31日現在) |
|----------------|----------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 8,714,065 | 12,005,694 |
| 固定資産 | 18,664,701 | 17,919,812 |
| 有形固定資産 | 17,073,525 | 16,393,801 |
| 無形固定資産 | 240,580 | 178,610 |
| 投資その他の資産 | 1,350,595 | 1,347,401 |
| 1 資産合計 | 27,378,766 | 29,925,507 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 9,375,857 | 11,441,677 |
| 固定負債 | 6,364,522 | 5,631,663 |
| 2 負債合計 | 15,740,379 | 17,073,340 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 9,975,621 | 11,139,119 |
| 資本金 | 764,815 | 764,815 |
| 資本剰余金 | 705,825 | 705,825 |
| 利益剰余金 | 8,614,575 | 9,778,391 |
| 自己株式 | △109,594 | △109,912 |
| その他の包括利益累計額 | 71,363 | 73,566 |
| 非支配株主持分 | 1,591,402 | 1,639,480 |
| 3 純資産合計 | 11,638,386 | 12,852,166 |
| 負債純資産合計 | 27,378,766 | 29,925,507 |

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

| 科目 | 前連結会計年度 (平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで) | 当連結会計年度 (平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで) |
|--------------------------|---|---|
| 4 売上高 | 31,436,383 | 31,948,962 |
| 売上原価 | 24,025,860 | 24,891,797 |
| 売上総利益 | 7,410,522 | 7,057,165 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,376,783 | 5,160,895 |
| 5 営業利益 | 2,033,739 | 1,896,270 |
| 営業外収益 | 62,341 | 69,607 |
| 営業外費用 | 57,408 | 74,489 |
| 5 経常利益 | 2,038,672 | 1,891,388 |
| 特別利益 | 206,682 | 757 |
| 特別損失 | 34,273 | 49,900 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,211,081 | 1,842,244 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 716,421 | 463,112 |
| 法人税等調整額 | 70,097 | 16,435 |
| 当期純利益 | 1,424,562 | 1,362,696 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 151,297 | 56,744 |
| 5 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,273,264 | 1,305,952 |

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

| 科目 | 前連結会計年度 (平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで) | 当連結会計年度 (平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで) |
|--------------------------------|---|---|
| 6 営業活動による キャッシュ・フロー | 2,865,295 | △989,453 |
| 7 投資活動による キャッシュ・フロー | △120,407 | △203,277 |
| 8 財務活動による キャッシュ・フロー | △1,912,996 | 181,798 |
| 現金及び現金同等物の 増減額（△は減少） | 831,891 | △1,010,932 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 1,688,139 | 2,520,031 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 2,520,031 | 1,509,098 |

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度（自平成29年1月1日 至平成29年12月31日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | 株主資本 合計 | その他の包括利益累計額 | | | 非支配 株主持分 | 純資産 合計 |
|-------------------------|---------|---------|-----------|----------|------------|------------------|------------------|-------------------|-------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括 利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 764,815 | 705,825 | 8,614,575 | △109,594 | 9,975,621 | 72,054 | △691 | 71,363 | 1,591,402 | 11,638,386 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △142,135 | | △142,135 | | | | | △142,135 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 1,305,952 | | 1,305,952 | | | | | 1,305,952 |
| 自己株式の取得 | | | | △318 | △318 | | | | | △318 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額（純額） | | | | | | 7,038 | △4,835 | 2,203 | 48,078 | 50,281 |
| 当期変動額合計 | — | — | 1,163,816 | △318 | 1,163,498 | 7,038 | △4,835 | 2,203 | 48,078 | 1,213,779 |
| 当期末残高 | 764,815 | 705,825 | 9,778,391 | △109,912 | 11,139,119 | 79,092 | △5,526 | 73,566 | 1,639,480 | 12,852,166 |

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益1,842百万円及び未成工事受入金の増加1,095百万円等の増加要因がありますが、売上債権の増加1,989百万円及びたな卸資産の増加1,871百万円等の減少要因により、資金は989百万円の減少（前連結会計年度は2,865百万円の増加）となりました。

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の売却による収入97百万円等の増加要因がありますが、定期預金の預入による支出120百万円及び有形固定資産の取得による支出157百万円等の減少要因により、資金は203百万円の減少（前連結会計年度は120百万円の減少）となりました。

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出1,394百万円の減少要因がありますが、短期借入金の増加1,075百万円及び長期借入れによる収入700百万円等の増加要因により、資金は181百万円の増加（前連結会計年度は1,912百万円の減少）となりました。

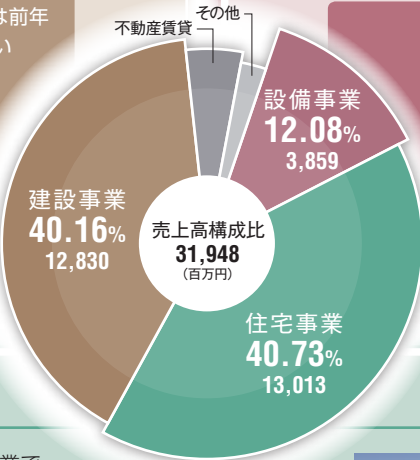
建設事業

建設事業は、美樹工業の原点です。創業以来60年以上にわたり施工を通じて発注者との信頼関係を深め、コンスタントな受注獲得、特命受注、シリーズ化工事を進めてまいりました。スポット受注が大勢を占める建設業界において、業績の安定化、他社との差別化につながっています。



部門別概況

建設事業につきましては、ガス導管敷設工事は前年と比較して微減となったものの、建築工事において大型工事の完成計上があったこと等から、売上高は前年同期と比較して38.1%増の12,830百万円となりました。営業利益につきましては、建築工事の売上高の増加に加えて、収益性の高い大型工事の完成があった影響から、前年同期比39.5%増の1,111百万円となりました。



設備事業

設備事業は、大阪ガス(株)の指定工事会社としてガス内管工事・ガス機器等の販売施工を行うとともに、生活に欠かせない給排水衛生設備や空調設備工事も行っております。また、連結子会社三樹エンジニアリング(株)では、大阪ガス(株)のサービスショップとして、エネファームやガスヒーボン、カワック、温水床暖房などの販売を行っております。



部門別概況

設備事業につきましては、当社において前年同期に産業用太陽光設置工事等の複数の大型工事の完成計上があったことや、官公庁の大型設備工事の完成計上があった反動から、売上高は前年同期比37.2%減の3,859百万円、営業利益は前年同期比70.9%減の142百万円となりました。

住宅事業

当社グループの大きな柱へと成長した住宅事業では、連結子会社セキスイハイム山陽(株)におきましては、積水化学工業(株)のユニット住宅「セキスイハイム」「セキスイツーユーホーム」の販売、施工を行うとともに、連結子会社(株)リブライフにおきまして、外張断熱工法の木造デザイン住宅「リパーロ」等の販売、施工を行っております。



部門別概況

住宅事業につきましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽(株)及び(株)リブライフにおいて引渡棟数が減少した影響等から、売上高は前年同期比4.8%減の13,013百万円となりました。営業利益につきましては、売上高減少の影響により前年同期比82.7%減の21百万円となりました。

貸借対照表 (要旨)

(単位:千円)

| 科目 | 前事業年度 (平成28年12月31日現在) | 当事業年度 (平成29年12月31日現在) |
|--------------|--------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 4,915,026 | 7,090,508 |
| 固定資産 | 11,088,905 | 10,545,283 |
| 有形固定資産 | 9,943,008 | 9,438,534 |
| 無形固定資産 | 234,485 | 172,273 |
| 投資その他の資産 | 911,411 | 934,475 |
| 資産合計 | 16,003,931 | 17,635,792 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 4,627,852 | 6,364,266 |
| 固定負債 | 3,638,199 | 2,488,536 |
| 負債合計 | 8,266,052 | 8,852,802 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 7,668,895 | 8,706,592 |
| 資本金 | 764,815 | 764,815 |
| 資本剰余金 | 705,825 | 705,825 |
| 利益剰余金 | 6,307,849 | 7,345,864 |
| 自己株式 | △109,594 | △109,912 |
| 評価・換算差額等 | 68,984 | 76,397 |
| その他有価証券評価差額金 | 68,984 | 76,397 |
| 純資産合計 | 7,737,879 | 8,782,989 |
| 負債純資産合計 | 16,003,931 | 17,635,792 |

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書 (要旨)

(単位:千円)

| 科目 | 前事業年度 (平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで) | 当事業年度 (平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 16,194,720 | 18,068,854 |
| 売上原価 | 13,113,940 | 14,953,454 |
| 売上総利益 | 3,080,780 | 3,115,399 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,502,058 | 1,512,898 |
| 営業利益 | 1,578,721 | 1,602,501 |
| 営業外収益 | 28,607 | 32,297 |
| 営業外費用 | 36,089 | 44,357 |
| 経常利益 | 1,571,239 | 1,590,441 |
| 特別利益 | 10,202 | — |
| 特別損失 | — | 27,425 |
| 税引前当期純利益 | 1,581,442 | 1,563,015 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 564,289 | 359,808 |
| 法人税等調整額 | △5,869 | 23,056 |
| 当期純利益 | 1,023,021 | 1,180,150 |

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

利益配分に関する方針



当社は、企業価値のさらなる向上を目指しながら株主の皆様へ適切な利益還元を行うことを経営上の重要課題と位置づけており、安定的かつ継続的な利益配分と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実により安定した経営基盤を築くことで企業体質の強化を図ることを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、前期に引き続き業績が好調に推移したことから、株主の皆様への利益還元として、1株当たり特別配当30円を増配し、普通配当50円と合わせて80円といたします。

当期の主な

完成・受注工事

| 完成工事一覧 | |
|--|----------------|
| 工事名 | 施主名 |
| 国分東条地区 護岸補修工事 (国) 372号交通安全 道路改良工事 | 近畿地方整備局 兵庫県 |
| 東部市場新加工場・冷蔵庫棟 建設工事 姫路市北部エリア学校給食センター整備及び運営事業 | 神戸市 姫路市 |
| 加古川東郵便局 模様替工事 | 日本郵便(株) |
| サムティ西区南堀江2丁目 新築工事 | サムティ(株) |
| アルカモール東姫路店 新築工事 | (株)ナガタ薬品 |
| 小東山北地区学生マンション 新築工事 | 山陽電気鉄道(株) |
| ドラッグコスモス水谷店 新築工事 | (株)コスモス薬品 |
| 立会池・奥池 水上太陽光発電所工事 | (株)二川工業製作所 |
| 護持ヶ池 水上太陽光発電所工事 | (株)二川工業製作所 |
| ヤマダストアー新辻井店 改修工事 | ヤマダストアー(株) |



▲サムティ西区南堀江2丁目 新築工事 (S-RESIDENCE南堀江)



▲小東山北地区学生マンション 新築工事 (エス・キューパル小東台)



▲姫路市北部エリア学校給食センター整備及び運営事業



▲立会池・奥池 水上太陽光発電所工事



▲(国) 372号交通安全 道路改良工事



▲護持ヶ池 水上太陽光発電所工事

| 受注工事一覧 | |
|-------------------------|---------------|
| 工事名 | 施主名 |
| 県立柏原・柏原赤十字統合新病院 外衛生設備工事 | 兵庫県 |
| 鴨谷配水池及び進入路 築造工事 | 加西市 |
| 都市計画道路城北線 道路改良工事 | 姫路市 |
| 特別養護老人ホームくみのき苑しらさぎ 新築工事 | 社会福祉法人ラポール会 |
| サムティ西区本田1丁目 新築工事 | サムティ(株) |
| 高槻市高齢者施設 新築工事 | JR西日本不動産開発(株) |
| 大阪市福島区福島6丁目 新築工事 | 日本エスリード(株) |
| 桜花ソーラーガーデン 太陽光発電所工事 | (株)二川工業製作所 |
| 第5太陽光発電所工事 | 姫路鋼材(株) |

■ 会社情報

| | |
|-------------|--|
| 商 号 | 美樹工業株式会社 |
| 英 文 商 号 | MIKIKOGYO CO.,LTD. |
| 設 立 | 昭和37年1月 |
| 資 本 金 | 7億6,481万円 |
| 従 業 員 数 | 272名 |
| 主 な 取 引 銀 行 | 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行 みずほ銀行 りそな銀行 トマト銀行 |

■ 役員 (平成30年3月28日現在)

| | |
|---------|--------|
| 代表取締役社長 | 岡田 尚一郎 |
| 常務取締役 | 福本 猛虎 |
| 取締役 | 魚澤 誠治 |
| 取締役 | 小川 洋市 |
| 取締役 | 永井 孝信 |
| 取締役 | 山井 正雄 |
| 監査役 | 三木 立子 |
| 監査役 | 高谷 日出男 |
| 監査役 | 和泉 洋 |

■ 事業所

| | |
|---------|--------------------|
| 本 店 | 兵庫県姫路市東延末二丁目50番地 |
| 大 阪 支 店 | 大阪市中央区道修町三丁目6番1号 |
| 神 戸 支 店 | 神戸市中央区港島中町一丁目1番地の3 |

■ 株式の状況

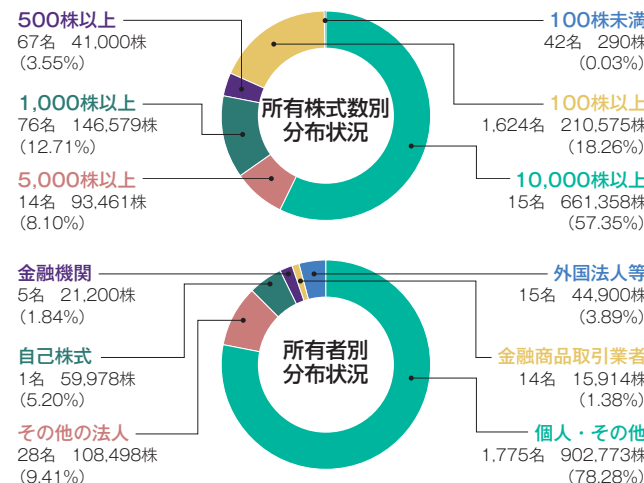
| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | : 4,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | : 1,153,263株 |
| 株主数 | : 1,838名 |

■ 大株主の状況

| 株 主 名 | 持 株 数 | 持株比率 |
|---|----------|--------|
| 三 木 佳 美 | 168,050株 | 14.57% |
| 三 木 博 也 | 150,760株 | 13.07% |
| 有 限 会 社 フ レ ン ド 商 会 | 70,698株 | 6.13% |
| BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC / ACCT BP2S DUBLIN CLIENTS - AIFM | 27,600株 | 2.39% |
| 平 野 勝 也 | 26,800株 | 2.32% |
| 中 田 純 夫 | 23,950株 | 2.07% |
| 美 樹 工 業 社 員 持 株 会 | 21,937株 | 1.90% |
| 三 木 立 子 | 21,121株 | 1.83% |
| 中 田 知 子 | 20,537株 | 1.78% |
| 福 本 久 幸 | 17,900株 | 1.55% |

(注1) 持株比率は、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。
(注2) 上記のほか、自己株式が59,978株あります。

■ 株式分布



株主優待制度のご案内

① 対象株主

毎年6月30日及び12月31日時点で、
1単元以上保有の株主様を対象といたします。

② 優待内容

(株)サラダコスモの商品の詰め合わせ
(国産ちこり、緑豆もやしなど)

③ お届け時期

9月末頃と3月末頃の発送を予定しております。



※内容が異なる場合がございます。

| | |
|--------------------------------|---|
| 事 業 年 度 | 1月1日から12月31日まで |
| 定 時 株 主 総 会 | 3月中 |
| 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日 | 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 |
| 株 主 名 簿 管 理 人 (特別口座の口座管理機関) | 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同 連 絡 先 | 〒541-8502 大阪府大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話：0120-094-777 (通話料無料) |
| 上 場 市 場 | 東京証券取引所JASDAQ市場 |
| 公 告 掲 載 新 聞 | 日本経済新聞 貸借対照表及び損益計算書にかかる情報は 当社ホームページに掲載しております。 当社ホームページ： http://www.mikikogyo.co.jp/ |

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金受領方法のご指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
ホームページアドレス
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



美樹工業株式会社

<http://www.mikikogyo.co.jp/>